

大阪エヌ・イー・ディー・マシナリー株式会社

現場から学び、現場作業の改善に貢献する人にやさしい企業 ——センサー技術と機械設計技術を融合

ここに注目!

現場知り尽くす強みで、高シェア環境機器を開発
開発力をベースに、新たな柱を育成

大阪エヌ・イー・ディー・マシナリーはユーザーニーズを反映した環境機器を開発し、ゴミ処理施設に持ち込まれるゴミ袋を取り除く破集袋機など圧倒的なシェアを持つ製品を生み出してきた。営業、技術の両輪で同社の成長をけん

ん引してきた力身総一郎社長、山崎裕司取締役技術本部長は「現場を知り尽くしていることが我々の強み。誇りを持ってモノづくりを続けたい」と口をそろえる。

センサー開発を主業務とする日本エレクトロセンサリデバイス



ゴミ袋と中身を分離し回収する破集袋機



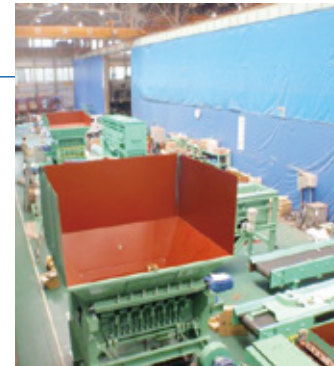
空き缶を圧縮、減容するカンペコプレス

(NED) が、機械との融合を図るために太陽鉄工（現 TAIYO）グループの太陽マシナリーを譲り受け、1994（平成6）年に大阪エヌ・イー・ディー・マシナリーとして設立した。NEDのセンサー技術と太陽マシナリーの機械設計技術を融合して多様な機器を開発してきた。

破集袋機開発を端緒に 環境機器メーカーとして成長

設立当初は工場の重量物を運ぶFA機器を中心に製造していたが、毎月コンスタントに売れていたのは空き缶を圧縮、減容化する機械だった。その製品を端緒に環境プラントメーカーに教を乞ううちに、環境機器の開発事例が増えていった。ちょうどゴミ焼却プラントにおけるダイオキシン発生が大問題となった時期で、高温で焼却しないとダイオキシンが発生するゴミ袋を回収できる破集袋機を当時協力企業だった有本鉄工所と共同開発した。破集袋機は時宜を得て大ヒットし、類似機械を発売する競合が何社も出現したが、精度の高さで追随を許さず、圧倒的なシェアを獲得した。

ファブレス企業だった会社はその後、有本鉄工所からの事業譲渡を受け、工場を持つ真のメーカーに生まれ変わった。現場主義を徹底し、ユーザーが困っている内容、要望を聞き出し、さまざまな製品を作り上げてきた。ただ、今でこそ機器開発の強みを確立しているが、一時は開発力が衰えかねない危機もあった。大手環境プラ



工場内の一風景



技術本部の入る事務所棟



技術本部打合せの一コマ

ントメーカーからプラントエンジニアリングを受注している時期がそれ。経営的には安定するが、「このままでは技術力が育たない。機器メーカーの原点に戻るべきだ」と考え、プラント製作からの撤退を決断した。当時は売上が急減し苦しかったが、今は「決断してよかった」と振り返る。

次世代に向けた 新製品開発、経営体制・ 技術の継承を進める

これまで同社は「すべての破袋現場から手破袋作業を無くす」をテーマに掲げた機器開発で、ゴミ処理現場の環境改善に大きく貢献

してきた。現場主義の徹底により定着した開発力、提案力を基に、力身社長は「環境以外に新たな事業の柱を二つ作りみたい」と今後の展開を語る。NEDが保有するセンサー技術を活用しながら、インフラ事業に関連する新分野を開拓する。すでに今後の成長が見込める省人化機器やロボット技術を活用した機器開発を進めており、2、3年先には将来の柱として育てる考えだ。

業容の拡大に向かうための社内体制整備も着々と進む。人材育成のため「継続は力」を実践し、人員補強を続けるとともに、開発、設計や営業のスキル向上を図って

いる。社員の頑張りに対し報いる施策も充実しており、目標を上回る利益が出た場合、各人の生み出した成果に応じて特別賞与を支給する。特別賞与は直近6年間継続している。

力身社長は主に営業の立場、山崎取締役は技術屋の立場とし、それぞれの立場で時には言い合いもしながら、しっかりとタッグを組んで会社を成長へと導いてきた。二人の経営者は「お客様ありきで、良いモノを提供するためには良いコラボレーションが必要」とし、「同じ感覚を次の世代にも味わってもらいたい」と世代交代を視野に入れている。

わが社を語る

代表取締役社長
力身 総一郎氏



企業の発展に重要なのは“人”

創業時はFAメーカーでしたが、燃やすと毒性の強いダイオキシンが発生するゴミ袋の分離回収が技術課題となるなか、ゴミ袋を破り中身と分離し回収する機械の開発に着手し、破集袋機という製品をリリースし、公的機関の処理場から引合を頂き納入させていただきました。これを機にリサイクル機器メーカーに専念、種々の機械開発をスタートし、後発ですが業界トップを

走り続けています。経営信条は正否を明らかにすることです。わが社は、正は正、否は否として受け止める企業です。企業の発展に一番重要なのは人です。社員のマインドを常に高めることができる会社でありたいと願っています。一人ひとりのアイデアを製品開発に生かしていきたい、次の世代を迎え育てていきたいと考えています。

会社 DATA

所在地：大阪市西区立売堀2-5-12
設立：1994（平成6）年3月設立
代表者：力身 総一郎
資本金：2,000万円
従業員数：20名
事業内容：リサイクル設備、環境機器の設計製作販売
URL：http://ned-machinery.co.jp/

